

想いを  
つないで

医療過誤原告の会20年のあゆみ

## 設立宣言

### 記念誌発刊にあたって

#### 追悼—礎を築いた二人のメッセージ—

医療被害者救済への道は遠く(10周年記念誌から転載)

医療過誤原告の会設立10周年に寄せて(10周年記念誌から転載)

#### 「原告の会」におしみなく力添えをしてくださった方々

過去を知り、原告の会の役割を考える—20周年記念誌に寄せて

医療事故対策の現状と課題

「医療過誤原告の会」設立20年を迎えて

「医療過誤原告の会」はいつまでか

この逼塞状況—だれがこれを打破するのか

想い出すことなど

過ちは人の常、だが防止は可能

医療事故の原因究明・再発防止制度の確立をともに求めて

医療過誤原告の会創立20周年に思う

原告の会20周年に寄せて

一層の奮起を期待

「医療崩壊」言説にたじろがない強さを

患者・家族との信頼関係をつなぐ—「架け橋」

第三者機関による医療事故調査および院内事故調査制度の確立を

継続こそが力なり

依頼者から学んだこと

医療安全文化が根付く日まで

今こそ、必要とされる「医療過誤被害者の視点」

#### 医療被害者の闘いとその思い

看護と裁判の22年8カ月

最後まであきらめないで

「医療の安全」願う心が踏みにじられた裁判

原因究明こそが病院の社会的責任

下手な医師の罪は問えない?—元気だった主人の死

病理解剖に疑問—娘と孫の死

力を合わせてがんばりましょう

先端医療の落とし穴—亡くなった息子に託された裁判

原告の会との出会いとこれから

杜撰医療を擁護する杜撰判事たち—私の「壁」体験記

被害者同士のネットワークづくり

「強い思い」、「客観的な思考と情報」で—医療裁判の取り組みへの提案

息子を虫垂炎手術ミスで亡くして

反省すべきは反省し、再発防止を

#### 医療過誤原告の会20年の活動

・医療過誤原告の会 シンポジウム20年(1991年~2011年) ..... 80

・医療事故調査委員会・早期設置推進キャンペーン(2008年~2011年) ..... 88

#### 医療過誤裁判と原告の会の推移

・新規提訴件数 ・医療過誤原告勝訴率 ・医療過誤原告の会 入会者総数 ..... 89

#### 日本の医療被害者をとりまく状況

・年表 医療事故と医療安全 ..... 90

・医療安全調査機関検討資料、医療ADR機関連絡先 ..... 96

第20期役員 ..... 97

編集後記 ..... 高橋 純 ..... 97

宮脇 正和 ..... 2

近藤 郁男(故) ..... 6

久能 恒子(故) ..... 9

加藤 良夫 ..... 12

鈴木 利廣 ..... 16

勝村 久司 ..... 19

石川 寛俊 ..... 23

森 功 ..... 23

近藤 孝 ..... 25

打出 喜義 ..... 26

木下 正一郎 ..... 27

隈本 邦彦 ..... 28

小林 洋二 ..... 31

近藤 誠 ..... 33

鳥集 徹 ..... 33

豊田 郁子 ..... 34

永井 裕之 ..... 36

富家 孝 ..... 39

細川 大輔 ..... 40

堀 康司 ..... 41

油井 香代子 ..... 42

稲垣 克巳 ..... 44

石井 和子 ..... 45

伊藤 典子 ..... 49

川田 綾子 ..... 52

北 和代 ..... 54

小室 義幸 ..... 57

佐藤 和子 ..... 60

篠原 聖二 ..... 62

清水 紀子 ..... 65

高橋 純 ..... 67

永井 国生 ..... 71

森永 泰彦 ..... 72

藪見 紀子 ..... 75

渡辺 好男 ..... 77